

施策項目1

幼児教育の充実

【課題】

- 学びの機会の確保が困難な保育者が研修や助言を受ける体制の改善
- 幼児教育と小学校教育との連携や、円滑な接続の促進
- 家庭環境の多様化を踏まえ、地域全体で幼児期の家庭教育を支える体制の構築

将来のビジョン

- ◆ 全ての幼児教育施設において、**研修や助言制度の活用が促進され**、保育者の働きやすい環境づくりや、幼児の発達の特長や個々の課題に応じた質の高い教育の提供が実現
- ◆ 「教育の始まり」としての幼児教育の意義が社会的に共有され、全ての地域において、**各教育主体が子どもを中心に組織的につながり、幼児期からの学びの基盤が充実**
- ◆ 家庭や地域との連携の下、保護者が相互に交流し、**子育てに関する相談や情報提供などの支援**を受け、地域ぐるみで子どもを育てる

主な施策

- ◇ 全ての保育者が受講しやすく、質の高い研修の提供や園内研修の促進
- ◇ 多忙や早期離職対策等、現場ニーズに対応した助言・相談機会の提供
- ◇ 市町村や小学校における幼児教育や幼小連携・接続の意義の理解促進
- ◇ 地域・校区間格差是正に向けた課題解決につながる幼小連携・接続体制の構築
- ◇ SNS や健診の機会等を活用した多様な保護者への学習機会の提供

【関連施策】

特別支援教育

人材の養成

人材の確保

子育て支援の充実

福祉との
連携強化

働き方改革

感染症対策

安全・安心な
環境の整備

【参考データ】

・ 幼児教育施設等において、各管内に配置された「幼児教育の専門性を有する人材」を活用して園内研修等が行われた管内の割合	R2
	50%
・ 域内の幼稚園、認定こども園及び保育所、並びに小学校間の意見交換や合同の研修会の機会を設けている市町村の割合	R元
	92.7%

【課題】

- 全国学力・学習状況調査結果において、全ての教科で全国平均に届いていないことから、本道の子どもたち一人一人に、引き続き、社会で自立するために必要な学力の育成が必要
- 急速に整備されている学校の ICT 環境を活用した授業改善を進めることが必要

将来の
ビジョン

- ◆ 全ての学校において基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育を実践

主な施策

- ◇ 教育課程の実施状況を評価してその改善を図る検証改善サイクルの確立
- ◇ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ◇ 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣、学習習慣の定着
- ◇ ICT 環境を最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実

【関連施策】

カリキュラム・マネジメントの充実	ICTの活用	少人数指導	教科担任制
読書活動	—	—	—

【参考データ】

○各教科の平均正答率(平成 31 年度全国学力・学習状況調査)

		小学校		中学校	
		国語	算数	国語	数学
		H31(R1)	H31(R1)	H31(R1)	H31(R1)
平均正答率 (%)	道	62.8	64.5	72.1	58.1
	国	63.8	66.6	72.8	59.8

施策項目3

ふるさと教育の充実

【課題】

- アイヌ施策推進法の施行、ウポポイの開業や、炭鉄港の日本遺産登録、北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録など、北海道の自然や文化、観光産業等の保存・活用の気運が高まっていることから、これらの教育資源の活用を通じて、児童生徒のふるさとに対する興味・関心を高める指導を充実させることが必要

将来の
ビジョン

- ◆ 全ての学校において、**自分たちの住む地域**の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業等**に理解を深め、郷土への誇りと愛着を育み**、これからの北海道を担う人づくりにつながる教育を実践

主な施策

- ◇ アイヌの人たちの歴史・文化等や北方領土に関する学習において、施設や人材等を活用した体験的なふるさと教育の推進
- ◇ 本道の自然や歴史・文化・産業などの教育資源を活用した教育プログラムや実践事例の普及
- ◇ ふるさと教育の充実に資する教員研修の実施

【関連施策】

「北海道みんなの日」の教育活動

道立美術館機能の活用

地域学

世界遺産
日本遺産

—

—

—

—

【参考データ】

・全国学力・学習状況調査において、「地域や社会で起こっている問題に関心があるか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合	R1	
	小 76.5%	中 74.5%
・アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材等を活用した体験を通じた学習を行っている学校の割合	R2	
	小 73.5%	中 67.5%
・北方領土に関する学習において、施設や地域人材を活用した体験を通じた学習を行っている学校の割合	R2	
	小 66.1%	中 65.6%